



いかり 康雄 レポート

まちづくり
街を創る職人



聞かせてください、あなたの声を！

市民が主役で暮らしやすいまちに

市役所は、私たちにとって最も身近な「政府」です。国全体で見ると、地方自治体の公的支出は、国の支出の2.5倍に達し、私たちの生活に大きな役割を果たしています。

良いサービスを提供するためには、アイデアが必要です。議会には、市民のアイデアをいかし、政策にしていく機能が求められています。

良い行政サービスを住民に提供する市役所になれば、市民生活もよくなります。

あなたの声は市政に届いていますか

平成22年4月に制定された「川口市自治基本条例」では、「市民は主人公」とされ、市民の声を活かした市政運営をすると書かれています。

市民の声は市政に届いていると思いますか？市民のために頑張っている市議会議員は少なくありませんが、条例制定権を持つ市議会が自ら条例を制定したり、市長に提案したりすることが少ないようです。

日本の地方自治制度は、「二元代表制」であり、市議会は、市政をチェックすることが期待されています。実際には、「要望」にとどまることが多く、十分に機能を果たしていません。

こういう議会であって欲しい

こうした期待に応えるために望ましい市議会のあり方はとほどのようなものでしょうか。

①市民の目線で考えること

主権者である市民の意思にもとづいて、市民の生活を第1に考えて市政を考えることが望まれます。市議会が積極的に市政報告会を開いたり、市民とともに市政を考えることは、全国的な流れとなっています。

②行政の仕組みや政策に理解があること

行政が、これまでと同じことをしていても、市民生活はよくなりません。新しい工夫をしていくためには、政策に対する深い理解が必要です。

③新しい仕組みを考える柔軟性

柔軟な発想で、市民の持つ力を組み合わせることによって市民に役立つ仕組みが生まれます。「前例がないからやらない」ではなく、たとえ難しくても良いことであれば実現するために努力することが求められています。

かわぐちを、より住みやすいまちにしていくために、市議会は市民の声に耳を傾けていかなければなりません。

あなたの声を

ぜひ聞かせてください。



いかり
康雄

経験と情熱で 市政に新しい風を

明日の
川口のために！

聞かせてください。あなたの声を！

川口をよりよくしていくための政策を作り上げていくために、あなたのご意見を聞かせてください。

1 あなたが関心があるのは次のどの分野ですか。

・防災 ・コミュニティ ・福祉 ・介護 ・子育て ・環境 ・市政・議会改革 ・新庁舎問題

2 あなたのご意見をご自由にお書きください。

.....
.....

お名前：

郵便番号：

ご住所

電話番号：

メール：

メールで連絡を受けることを承認いただける場合は、
メールアドレスをご記入ください。

電話でご連絡ください。本人が伺います。または、郵
送・ファクシミリ（048-437-5585）でご返送ください。



いかり やすお
碇 康雄

【経 歴】

昭和38年 川口市生まれ（51歳）

昭和51年 川口市立芝南小学校卒業

昭和54年 川口市立芝中学校卒業
（テニス部所属）

昭和57年 埼玉県立浦和高等学校卒業
（柔道部所属）

昭和63年 早稲田大学政治経済学部卒
（地方自治を学ぶ）

昭和62年 民間シンクタンク入社。

平成5～16年 カナダ・アメリカの大学に留学。
ヨーク大学環境学研究科（M. E. S. =環境学修士）
カナダ政府奨学金を受給。北イリノイ大学政治学
研究科（Ph. D=政治学博士）

平成17年 帰国後、民間シンクタンクに復帰。環
境・まちづくり分野の事業を担当

平成23年4月 川口市市議会議員選挙に挑戦。100票
差で涙を飲む。

現在、民間シンクタンクの主任研究員。

環境問題・まちづくりに取り組むNPOなどで幅広く
市民活動に取り組んでいる。

元川口市自治基本条例策定委員会委員、元川口
市協働推進条例策定委員会委員、元川口市環境審
議会委員

討議資料

平成26年（2014年）6月
〒333-0866 埼玉県川口市芝2-8-2
TEL：048-268-2696
FAX：048-437-5585
EMAIL：coms@ikari2010.com